

いすま Smile

まち 思う気持ちを
原動力に



▼がんね白滝公園をバックに山本さん「地域の婦人部の皆さんが花壇の手入れをしてくれています」

山口県と広島県の境を流れる小瀬川。その中流に位置する弥栄は、森と湖の壮大な自然が広がり、岩国市のレジャースポットとしても知られている地域です。春には満開の桜の木が辺り一面をピンク色に染め、訪れた花見客にうらかな春のひとときを提供しています。

「ついこの間、新たに桜の木を130本植えました。この周辺では全部で約3600本くらいになつたかなあ。1万本を目指していますよ」山本勝義さんは笑いながら話します。山本さんは、地元美和町の環境整備組合や弥栄湖をはぐくむ会、芸防漁業協同組合などさまざまな組織のトップに立ち、長い間、美和町の環境を見つめてきました。地域の人も「美和のことなら山本さんが一番よく知つとるよ」と話すほどです。

「美和は広いですかね。過疎化も進んでいます。せめてこの辺り、町の東の玄関口だけでもきれいに整備をしておいたら、人も来てくれるんじゃないかなと思っていますよ」

初夏、山本さんたちが管理する「がんね白滝公園」を案内してもらいました。約7ヘクタールの広大な敷地には青々とした新緑が広がり、中ほどにはきれいな小川が流れています。近くに住む住民の皆さんによつて、隅々まできちんと草刈りがされ、ごみ一つない美しい景観が保たれています。お花見の時期はもちろん、四季を問わず県内外から家族連れなどが多く訪れます。美和町の自然を堪能できる場所の一つとなっています。

「桜の木を植えたら、地元に住んでいる人たちに自分の名前を付けてもらつてます。もう昔に亡くなつた人の名前の木も生き続けていますよ。自分の名前が付いた木は愛着も湧くでしょう? 皆さんかわいがつてくれて、大会も行われるいますよ」山本さんを中心とする地元の人びとの力によって、美和町のおもてなし体制はいつでも万全です。



▲美和町の「白滝山」を訪れる登山客が歩きやすいように看板を設置



▲公園の一角にはラジコンコースがあり、週末には大会も行われる

Vol.74

山本 勝義さん
(美和町在住)

環境整備組合、弥栄湖をはぐくむ会、芸防漁業協同組合などの長として、美和町の環境整備・美化などに精力的に取り組んでいる。

